

質問

その2

平成20年度施策の 基本姿勢は



中原 明 議員

自助努力なのか

中原 当初予算で一億七千万円の赤字予算計上が、十二月補正で六千七百五十万五千円と圧縮された。

内容は退職手当組合特別負担金の二千九百九十五万六千円が五年分割。日野町・江府町・日南町衛生施設組合負担金減額四百一十萬一千元、合計三千四百五十七万円は棚ぼたであり、自助努力は二千五百三十八万円、委託料の長期契約等の努力に敬意を表すが、年度末収支推計の赤字額の減額見込みはどうか。

町長 歳入を辛く見積もり、固定資産税、普通交付税を追加計上で、十二月補正で減額により財政推計を下回る六千七百五十九万五千円に圧縮できた。

削減できたのは棚ぼたではなく、努力の結果です。しかし、今後も歳入では特別交付税が、歳出では除雪経費等の動向により、予断は許されないと思っています。

数値目標を立て

実績評価を

中原 地方公共団体財政健全化法に基づき、実質赤字比率、

連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担率の指標数値標準が規定されている。

実質公債費比率は財政破綻基準三五割に限りなく近いが、二十年度予算編成において、施策の基本姿勢は何か。

町長 厳しい状況が続く中、無駄をはぶき創意工夫を重ね知恵を出し、全事業を再検討していきたい。

中原 意気込みは理解するが、数値目標を立て、実績評価をすることが、単年度黒字への早道ではないか。

町長 個々の事業にチェックをかけることが数値目標で、総体的に考えていけば可能です。

中原 この論議は毎回噛み合



期待される地方応援プログラム
(町民ミュージカル)

わず一致点は難しいが、考慮されたい。財源確保のため町報や冊子、封筒等、印刷物の広報媒体を活用して、有料広告の掲載に取組む考えは。

頑張る地方応援

プログラムの進捗は

中原 交付税支援措置の頑張る地方応援プログラムの進捗状況はどうか。

町長 ①空き家と有休農地を活かした定住促進、②子どもと大人の居場所づくり、③日本で二番目に小さな歳美術館の設置を検討中です。

議会のうごき

11月

12日 議会広報調査特別委員会

13日 常任委員長、議会運営委員長研修

16日 県監査委員協議会研修会

19日 日野病院組合議会定例会

20日 地方自治法施行六十年記念式典

21日 県議長会行政調査

23日 西部広域議会決算審査特別委員会

27日 町村議会議長会全国大会

12月

3日 日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会

4日 日野町人権同和教育研修会

5日 全員協議会